



渋谷区立鉢山中学校 学校だより

挑戦(Challenge) 創造(Create) 対話(Communicate)

校長 小幡 政明

むつきた はる はじ
正月立つ 春の初めに かくしつ

あい え とき
相し笑みてば 時じけめやも

おおとものやかもち
大伴家持

冒頭の和歌は万葉集に載っているものです。意味は、「正月、新春の初めに、このように互いに微笑み合っているのは、この時期にぴったりなことですよ。」というものです。

皆さんも家族やあるいは数年ぶりに会う親戚の方と微笑み合い、穏やかな正月を迎えたことと思います。

今年の元日も東京では雲一つない青空が広がりました。元日は晴れることが多いようです。東京管区気象台のホームページでは、天気出現率というものを示しています。1991年から2020年までの統計で、1月1日の晴れの出現率、つまり晴れていた日の割合は86.7%だそうです。

(ちなみに、1年間で最も晴れの出現率が高い日は、12月24日で93.3%です。)元日が晴天だと、今年は良い年になるような気持ちになります。

さて、皆さんは元日にどんなことを考えましたか。昔から「**一年の計は元旦にあり**」と言われていました。「充実した一年を送るためには、その年の初めに計画を立てましょう。」というような意味になります。この言葉の由来は、戦国武将の毛利元就が息子にあてた手紙に記したものだという説があります。また、中国の古典にすでに書かれていたという説もあります。ここでは、毛利元就の言葉を紹介します。

一年の計は春にあり

一月の計は朔(ついたち)にあり

一日の計は鶏鳴(けいめい)にあり

朔日とは、月の最初の日、鶏鳴とは、鶏が鳴くとき、つまり早朝ということです。一年、一月、一日のそれぞれ最初に、計画なりを立てて過ごすことで、充実した日々を送ることができるという意味です。

これは、ある意味とても理にかなっていると言えます。年の初めに1年の大まかな計画を立てる。それを12等分して、月ごとの計画を立てる。さらには、それを分割して1日の計画を立てる。そして、月初めや毎朝その計画を見直し実行していく。これを行っていくことで、充実した1年を過ごすことができます。実は、現在の社会では、すべてこのように動いています。学校もそうです。4月の初めに年間行事予定が配られます。月の最初に月行事予定が配られます。そして、毎日その計画に沿って行事が実行されていきます。もちろん、計画通りにいかないときには、臨機応変に対応していくことも必要ですが、まず初めに計画があるということです。

皆さんもきっと、「今年は、こんなことをしたい。今年の目標は〇〇だ。」と考えたと思います。その目標を達成するために、1年の計画を立ててみましょう。それを月ごとに落とし込んでみましょう。そして、その日に行くことは、その日の朝にチェックしましょう。きっとこれまで以上に充実した1年になると思います。

保護者・地域の皆様へ

あけましておめでとうございます。令和5年を迎えました。学校としては、まず令和4年度の残り3か月をしっかりと締めくくっていきいます。そして、次年度へとつなげていきたいと考えています。ご支援・ご協力よろしくお願ひします。

12月の communicate

道徳授業地区公開講座

3日(土)

本年度の道徳授業地区公開講座では、2年ぶりに全校道徳を行いました。

2時間目、I組も含め全学級で、学級ごとに道徳の授業を実施しました。「とんでもない」(鈴木ノリタケ 作)の絵本をもとに「多様性」について話し合いました。

3時間目は、全校生徒が体育館で、14のグループに分かれて、さらに話し合いを深めました。グループは、1年から3年まで縦割りグループです。今年度は、そこに学校運営協議会の委員や保護者の皆様に1人ずつ入っていただいて話し合いました。異学年間の話し合いにさらに大人が加わったことで、生徒一人一人のものの見方や考え方が大きく広がり、深まりました。



インドネシアとのオンライン交流 19日(月)

鉢山中学校では、昨年度から日本アートマイル協会主催のアートマイル国際協働授業プロジェクトに参加しています。これは、日本の学校と海外の学校を結び、SDGsの課題についてメールやオンラインで協働学習を行い、学習の成果として壁画を共同作成するというプロジェクトです。

今年度のテーマは、「13 気候変動に具体的な対策を」と「15 陸の豊かさを守ろう」です。6月に互いに学校紹介を、メールで行いました。夏休みには、生徒一人一人が、テーマについての個人研究を行いレポートとして提出しました。3年生が、全生徒のレポートを元に班ごとに研究を進め、解決策を考えました。その解決策を元に2年生が、壁画の原案を考え、壁画作成を進めます。1年生とI組は壁画の作成に加わりました。この日は、初めてオンラインでインドネシアの学校 SMPN 1 Kallijati につながりました。3年生が班ごとに解決策のプレゼンテーションを行い、2年生が完成した壁画の半分(日本側の作成

分)を披露しました。相手校も残り半分の壁画の下絵をプレゼンテーションしました。オンラインではありますが、海外の学校と直接的につながり、協働学習ができるというのは、まさにICTの進歩のたまものです。自国にいながら世界とつながれる。これからは、世界標準の新しい学びが進んでいきます。



12月の challenge

2年生 校外学習

9日(金)

2年生の校外学習は、都内巡りです。渋谷駅から出発し、公共交通機関を使って自分たちの決めた見学場所を巡り、渋谷駅に戻ってきます。それまでの間は、すべて自分たちの班だけでの行動です。途中ところどころにチェックポイントがあり、教員がいますが、それ以外は、まったく知り合いに会うことはありません。班の仲間だけが頼りです。各班はそれぞれテーマをもち、テーマに沿って見学場所を決定しています。テーマは、それぞれ「自然」「観光」「歴史」「建築」「文化」です。多少のアクシデントはありましたが、各班とも臨機応変に対応し、予定時間内に戻ってくることができました。計画通りに行動することや班の団結など多くのことを学びました。来年度の修学旅行での班行動の良い予行演習となりました。

